

交通安全に気を付けて

明盛建設(株)による旗の波街頭啓発
交通安全運動推進協議会による旗の波街頭啓発



旗の波で交通安全を呼び掛ける明盛建設の皆さん



旗の波街頭啓発で交通安全を呼び掛ける奥小児童

明盛建設(藤田利道代表取締役)の皆さんが9月26日、道の駅摩周温泉近くの国道241号沿いで、道行くドライバーに安全運転を呼び掛ける街頭啓発を行いました。社会貢献活動として、秋の全国交通安全運動期間に合わせて、毎年行っているものです。この日は約30人が参加。旗の波活動を行い、道行くドライバーなどに安全運転を呼び掛けました。

9月30日には、弟子屈町交通安全運動推進協議会(会長・徳永町長)主催の旗の波街頭啓発が、摩周観光文化センター前の国道391号沿いで行われました。秋の全国交通安全運動期間(9月21日～30日)に合わせて毎年行っています。今年は弟子屈町交通安全協会や女性ドライバークラブ、自治会、老人クラブなどから約70人と奥春別小学校の児童20人が参加。旗を片手に、行き交うドライバーに交通安全を呼び掛けたほか、啓発品を手渡して安全運転を促しました。

本町の牛と馬が奮闘

第16回北海道総合畜産共進会



入賞牛を囲んで

に輝くなど、素晴らしい成績を収めました。

来年は、口蹄疫や大震災の関係で延期となっていた5年に一度の乳牛の祭典、全日本ホルスタイン共進会が北海道で開催されます。本町牛馬のさらなる活躍が期待されます。

9月27日、28日には、同共進会の乳牛の部が開催されました。本町からは、釧路地区予選を勝ち抜いた坪井泰憲さん・高橋和憲さん・坪井秀明さん・坪井新奈さん・吉田雄貴さん所有の乳牛8頭が出陳。このうち、坪井新奈さん所有のグリークエスト・M・M・C・リッチ・ミニスター号がジャージー種の部でジュニアチャンピオンに輝くなど、素晴らしい成績を収めました。

来年は、口蹄疫や大震災の関係で延期となっていた5年に一度の乳牛の祭典、全日本ホルスタイン共進会が北海道で開催されます。本町牛馬のさらなる活躍が期待されます。



集合審査の様子

第16回北海道畜産共進会の馬の部・肉牛の部が9月6・7の両日、音更町で開催されました。本町からは、守屋博さん・藤田千代さんが所有する馬3頭が釧路地区予選を突破し、同共進会へ進出。肉牛部門では、芝田靖明さん所有の肉牛が釧路管内の個体審査を突破し、釧路地区代表として出場しました。両部門とも、残念ながら上位入賞には至りませんでした。出陳牛馬は堂々とした様子で、畜主の方も晴れの舞台を楽しんでいました。

町の話



町の話

弟子屈の森や木に触れて

2014弟子屈町木育週間



講師の萩原さん(左)の説明を聴く子どもたち



木のプール楽しいね

町では、木育への取り組みの一環として、10月7～12日に木育週間を開催しました。

木育は北海道生まれの取り組みで、子どものころから木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動です。森林に囲まれ、共生してきた本町にとっても、大切な取り組みです。

期間中、町林業多目的センターに木のおもちゃを用意して一般開放。木製の玉が入ったプールや木馬などたくさんのおもちゃに、訪れた親子連れや幼稚園児、保育園児などが歓声を上げていました。

12日には、北海道認定木育マイスターの萩原寛暢さんを講師に小学生を対象とした木育プログラム「木で遊ぶ」子ども木育デーを展開。18人が参加しました。午前中、900草原近くの「草原の森」を散策。午後からは林業多目的センターに移動し、木の枝を使ったカスタネット作りや、昔ののこぎりでの丸太切りなど、さまざまな体験を楽しみました。



昔ののこぎりに挑戦

町の話



町の話

働くことの意味を知ろう

弟子屈中学校2年生が職業体験



弟子屈消防署では放水にも挑戦(上)
弟子屈郵便局の窓口で郵便業務を体験(下)



東星波部建設株式会社の現場で測量などを学ぶ生徒たち

弟子屈中学校(坂東薫校長)の2年生が9月11・12の両日、町内13の事業所などで職業体験学習を行いました。

地域の企業や産業について理解を深め、働くことの意味を知り、将来に役立ててもらうことが目的で、2年生を対象に毎年行われています。

生徒は、事前に質問などを準備したほか、実際に履歴書も作成。礼儀やビジネスマナーなども学んでから、各事業所で仕事を体験しました。生徒からは「難しかったけど、やりがいがあった」「興味のある職種を体験できた。将来の参考にしたい」などの感想が聞かれました。



摩周厚生病院で看護について説明を受ける